

る

ごかせ 町立病院 通信

《2017年春号 No. 46》



待ち侘びた暖かな春

基本理念

地域の人を愛し、地域から信頼され、愛される病院を目指します

基本方針

- 1 患者さまから信頼される病院を目指します。
- 2 患者さまのご意見を尊重します。
- 3 患者さまに可能な限りの情報を提供します。
- 4 患者さまの自己決定権を尊重します。
- 5 患者さまにとって快適な病院を目指します。

院長あいさつ



院長 崔 林承

日頃より病院運営に関してご理解・ご協力ありがとうございます。
 今年度の診療体制は昨年度に引き続き、常勤医2名に加え、熊本大学循環器内科から月・水曜日、熊本大学消化器外科から金曜日、高千穂町国民健康保険病院から水曜日午後に整形外科、木曜日午後に耳鼻咽喉科の非常勤医の協力を頂いております。また、夜間・休日診療にも非常勤医の協力を頂いております。

2025年に団塊の世代が75歳に到達し、今後ますます医療・介護資源が必要とされる時代となります。国の医療費の高騰が予想される中、病院中心の医療から、在宅医療の推進が求められていますが、課題が多いのが現状です。住み慣れた地域で安心して暮らしていただけるために、今、そして将来の病院の果たすべき役割をしっかりと見極めながら日常の診療を続けていきたいと考えております。

今年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。



☆ 「へき地診療」について ☆

6月以降の「へき地診療」の日程につきましてお知らせします。下の表の「へき地診療の日程カレンダー」にてご確認ください。

～・へき地診療の日程カレンダー～

29年 6月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
			鞍岡	坂本	土生	
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
			鞍岡			
25	26	27	28	29	30	

29年7月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
			鞍岡	坂本	土生	
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
			鞍岡			
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

29年8月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
			鞍岡	坂本	土生	
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
			鞍岡			
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		
			鞍岡	坂本		

《へき診についてのお願い》

診察並びに、薬を希望される患者様は、必ず前日までに、町立病院までご連絡をお願いいたします。



新任紹介



とみたか ゆかり (事務)
富高 由香梨 (事務)

今年度、新規採用職員として任用され、当院に配属されました。五ヶ瀬町民のために無くてはならない病院だと感じています。勤務して1ヶ月、まだまだ皆さんにご迷惑をおかけすることが多いですが、日々学んでいきたいと思っておりますのでご指導の程、よろしくお願い致します。



えとう かえで
江藤 楓 (事務)

4月より新規採用職員として病院勤務となりました。社会人としての常識や自覚がまだ身についておらず、何かと至らぬ点もあるとは思いますが、皆さんご指導よろしくお願い致します。

五ヶ瀬町をよりよくできるよう頑張ります。

循環器内科医師紹介



やまむら さとる
山村 智 医師

前任の時津先生の後を引き継ぎ、水曜日の外来診療を担当します。

昨年秋に外来をお手伝いさせて頂く機会があり、初めて五ヶ瀬町を訪れましたが、のどかな風景が広がる自然に囲まれた場所で、病院全体に、どこか心地の良い、ほっとするような印象を受けました。

縁があつてまた仕事をする機会を頂き、私自身も驚いております。微力ながら皆さまのお役に立てればと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

糖尿病療養指導士

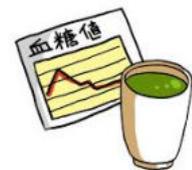


(管理栄養士)
佐藤 裕紀子

(看護師)
飯田 悦子

(看護師)
島田 起也

この度、私たちは、
「宮崎県地域糖尿病療養指導士」
に認定されました。



地域糖尿病療養指導士は、糖尿病患者の正しい知識、及び技術の充実、向上を図り、地域医療に貢献することを目的として、各地域の実情に即した体制のもとに認定され、活動を行っています。

日本においては、糖尿病は、(特に2型)第二次世界大戦後、自動車の登録台数に比例して増加しており、さらに、脂質や糖質の摂取量の増加といった食生活習慣の変化による影響も増加の原因と考えられています。糖尿病の診断を受けていなくても、正常値よりも血糖値が高く、将来、糖尿病と診断を受ける可能性のある方も増加しています。糖尿病の初期は、特に自覚症状が乏しいために「自分は大丈夫だろう」などと思われる方が多いのが現状ですが、血糖管理を怠ると、約5~10年くらいで糖尿病に特有な神経障害・網膜症・腎症といった合併症を引き起こす可能性のある病気です。そのため、血糖管理がとても重要であります。

私たち地域糖尿病療養指導士は、糖尿病の患者様が日常生活を過ごすなかで、食事や運動・服薬等について、よりよいアドバイスができるよう、医師と協力し活動していきたいと思っております。まだまだ未熟ではありますが、少しでも多くの方のお役にたてるよう努力してまいりますので、何か糖尿病の治療等でお困りの事がございましたら、お気軽にご相談ください。

病院給食の紹介

病院で提供している食事は、病気の改善や回復をより効果的に促進するための「一般治療食」、そして、病気の状態が食事と関係が深いと考えられる患者様を対象に、一定の栄養素の調節を行う「特別治療食」で構成されています。また、患者様個々人の病態や噛む力、飲み込む状態に合わせ、ご飯やおかずの形態も変えています。

今号より、病院で提供している給食の食種や形態についてご紹介いたします。

*主食の形態について

○常飯食…主食がご飯の食事。 ○常粥食…主食が全粥の食事。

※病態に合わせ、全粥の他に、七分・五分・三分粥・重湯に分かれています。

また、飲み込む状態が悪い方に対しては粥にトロミを付けたり、ミキサーにかけて飲み込みやすくするなどの対応を行っています。

患者様の状態によって、トロミをしっかりつけた方が良い方、またはトロミをつけ過ぎると飲み込みにくい方など様々です。

トロミ剤もお粥特有のべたつきを抑え、飲み込みやすくできるような製品を使用しています。

※次号ではおかずの形態についてご紹介します。

(管理栄養士)



全 粥



粥のミキサー食



<整形外科・耳鼻咽喉科の診療について>

整形外科の診療は**毎週水曜日の午後**、**耳鼻咽喉科**の診療は**毎週木曜日の午後**のみの診療です。高千穂町立病院の医師により診療を行っております。なお、整形外科・耳鼻咽喉科受付のための整理券を準備しましたので、午前中に診療をされた方は、受付にてお問い合わせください。

◎土日祝日の定期薬対応について

土日祝日に定期薬を希望される患者さまが来院されますが、院外薬局も休みのため、お薬の十分な処方できない場合もありますので、ご了承ください。

◎救急業務について

救急を要する疾患の場合は、西臼杵広域消防本部「**119**」へ電話通報をお願いします。

平成 29 年度高齢者肺炎球菌予防接種受付中

外 来 診 療 表

受 付 午前 11時 30分まで		月	火	水	木	金
午 前	外 科	崔 林承	崔 林承	崔 林承	崔 林承	崔 林承
		—	—	—	—	熊大消化器外科 派遣医師
	内 科	岡崎 智樹	岡崎 智樹	岡崎 智樹	岡崎 智樹	岡崎 智樹
田畑 範明		—	山村 智	—	—	
午 後	診察開始 午後 2時 から	外 科	田畑 範明	崔 林承	山村 智	岡崎 智樹
		内 科	—	—	高千穂町立病院 整形外科医師	—
		耳鼻咽喉科	—	—	—	高千穂町立病院 耳鼻咽喉科医師 甲斐 智朗

★学会、研修等で不在となる場合は、防災無線等でお知らせします。

★診療日が変更になる場合がありますので、ご心配の方は町病院 ☎ 73-5500 にお問い合わせ下さい。